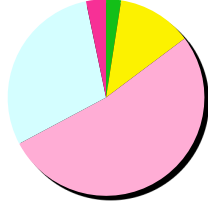


2011年度 企業アンケート 集計

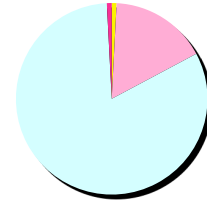
(1)有明高専は平成16年度、日本技術者教育認定機構(JABEE)の認定校となりました。現在または今後の採用時に、JABEE認定校の卒業生ということ意識されて採用活動を行われますか。

1. 意識して行う	3	2%
2. ある程度意識して行う	15	12%
3. ほとんど意識しない	64	52%
4. まったく意識しない	36	30%
5. わからない	4	3%
計	122	



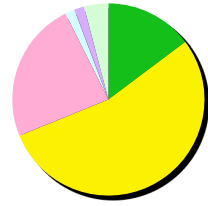
(2) JABEE認定校と非認定校出身者で、待遇などで何らかの差をつける計画がありますか。

1. すでに実施している	0	0%
2. 計画はある	1	1%
3. これから検討する	20	16%
4. 計画は無い	100	82%
5. その他	1	1%
計	122	



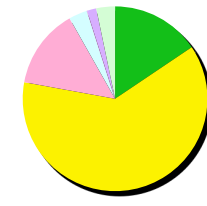
(3) 有明高専の5年卒業生に関する入社時の実力を評価してください。

1. 満足	18	16%
2. おおむね満足	66	57%
3. 普通	29	25%
4. やや不満	2	2%
5. 不満	0	0%
6. わからない	2	
7. 採用実績はない	5	
計	122	115



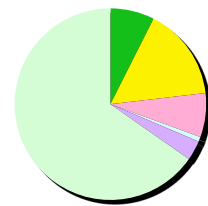
(4) 有明高専の5年卒業生に関する入社後の仕事を評価してください。

1. 満足	19	16%
2. おおむね満足	76	66%
3. 普通	17	15%
4. やや不満	4	3%
5. 不満	0	0%
6. わからない	2	
7. 採用実績はない	4	
計	122	116



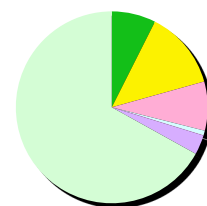
(5) 有明高専の専攻科修了生に関する入社時の実力を評価してください。

1. 満足	9	24%
2. おおむね満足	19	50%
3. 普通	9	24%
4. やや不満	1	3%
5. 不満	0	0%
6. わからない	4	
7. 採用実績はない	79	
計	121	38



(6) 有明高専の専攻科修了生に関する入社後の仕事を評価してください。

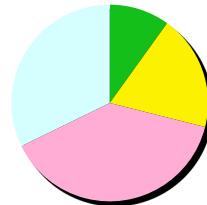
1. 満足	9	25%
2. おおむね満足	16	44%
3. 普通	10	28%
4. やや不満	1	3%
5. 不満	0	0%
6. わからない	4	
7. 採用実績はない	81	
計	121	36



(7) 有明高専の卒業生または専攻科修了生に対して、在学中もしくは入社後、取得して欲しい資格がありましたら、お答えください。技術系の学習をしてきた者として比較した場合、両者の間に業務遂行能力の違いはあると思いますか。

一級建築士	9	建築士
電気工事士	5	危険物関係
電気主任技術者	3	高圧ガス乙種機械以上
施工管理技士	2	1級ボイラー技士
初級システムアドミニストレータ	2	ボイラー2級以上
二級建築士	2	ボイラー
1級施工管理技師	2	公害防止関係
危険物乙4	2	公害防止管理者(水質・大気)
危険物取扱者	2	エネルギー管理士
基本情報技術者	2	電気通信主任技術者
危険物取扱者甲種	2	電気主任技術士
		電機関係
		工事担当者
		冷凍機
		応用情報技術者
		情報処理関連資格
		自動車免許
		TOEIC 500点
		一級管工事施工管理技士
		一級建築施工管理技士
		一級電気工事施工管理技士
		管工事施工管理士
		機械プラント製図2級
		建築設備士
その他(右記載各1)	27	高圧ガス製造保安責任者(乙種化学)
計	60	二級施工管理技士(建築、管、電気)
		放射線取扱主任者

1. あると思う	12	15%
2. 少しはあると思う	23	28%
3. ないと思う	47	57%
4. 専攻科の採用実績はない	39	
計	121	82



前問で「あると思う」、「少しはあると思う」と回答された方にお尋ねいたします。高専専攻科修了生と大学学部卒業生の違いはどのようなところですか。

(次ページに記載)

(9) 本校の技術教育プログラムの目標は下の枠内に示す通りです。これらの目標の中に、企業の側から見て、不要な項目がありますか。

ない	116社
ある	5社
A-1. 多面的考察力	2
A-2. 高い倫理観	0
A-3. コミュニケーション能力	1
B-1. 工学の基礎知識	1
B-2. 工学の専門知識	2
B-3. 実践力	0
B-3. 工学の学際的知識	1
C-1. 課題探究力	1
C-2. 課題解決力	1

(10) 上記の目標の中に、企業の側から見て、
不足の事項がありますか。

ない	64社	77%
ある	57社	23%

不足の事項

- マナー
- 就職とはお金をもらう立場になるという意識変革が無い。
- 文章の書き方
- 自己分析力と自己育成力(課題探求力・課題解決力の自己版です。)
- コスト意識, 目的意識, 向上心 等
- 英語力
- 基本的なもののづくりの技術(製図を含めた設計等)

(8) 専攻科修士と大学学部卒業生との違い

専攻科修士が優れている点

高専専攻科生の方が、大学学部卒より、現場向けの人間が多い(コミュニケーションできる人間の幅が広い)様に思う。

高専卒の方がより実践的だと感じる。

簡単ですが、理解力があると思います。

何事にも意欲的に取り組んでくれるところ

化学系学部生は、実践(実験におけるテクニック、解析)不足である。その点高専専攻科は経験豊富を感じる。

現場からの話で、スキルの習得が他の学校等に比べて早いと聞いています。

専門分野での知識、基礎学力等には違いがあるように思う。一方実務作業的には高専出身者が上とも思える。

高専専攻科修士は7年間しっかり教育をされているので、

入社時の印象では大学学部卒業生より学力・精神力ともに勝っていると感じる。

適応能力の高さ

真面目 学習習慣 向上心

高専専攻科修士の方が、分析機器や実験の経験量が多いし、専門性がより高い。

問題解決能力

専門的な知識に大きな差は無いと感じます。

研究室の研究内容によって、応用力や対応力、付随する技術知識に差が出ると考えられます。

また初期の時点ではコミュニケーション(報連相、伝える、聴くなど)能力は学部生の方が高いと感じます。

しかし数年後には個人のスキルで同じレベルになることは可能だと感じています。

大学学部卒業生は、知識に偏っているが、高専専攻科修士は知識・技能のバランスが取れており

現場に近い部署での仕事に向いており、即戦力として期待できる。

専攻科修士の方がより高い意識をもって業務に取り組んでいる。専門的な知識も、よりしっかりと勉強している感じがする。

高専出身の方は専門性が高く、現場からも非常に高く評価されている。

学部卒の学生と専攻科終了の学生では、知識・技術・資格の面で、専攻科生が入社時点では、優れている。

高専専攻科修士の方が、フットワークが軽いと感じられる

高専専攻科修士は、大学学部卒業生と比較して、業務上、期待される能力(情報収集能力、問題・課題解決能力、行動力)

が優れていると思います。又、特定の専門領域におけるより高度な技術知識を身に付けております。

専攻科修士が劣っている点

中学卒業以来、7年にわたって同じ環境・同じ顔ぶれで育っているので、ある意味世間知らずで考えや感覚が幼い部分がある。

それが業務遂行力の違いにも出ている。大卒者のほうが社会性もあり、大人の対応をするケースが多い。

コミュニケーション能力の差(7年間同じ環境で過ごしてきた高専生と、高校・大学と多様な環境で過ごした大学学部生では、コミュニケーション能力に差があるように思える。)

大卒はいろいろな人(文系の学生)との交流があり又、初めから4年という期間を計画しているのに対して、

専攻科の方は理系の方との交流のみで終ることもあるのでは?

高校での経験や大学での1人暮の経験等で学校以外の生活において学部生の方が

経験豊富でトラブルへの対処にも経験が活用されるのでは?と考えています。

その他

本人の正確等によるものがあり、学歴だけでは判断できない。

高卒の中にも素晴らしい人もいれば大卒で気位いばかり高く、* 生きるとか、仕事をするとか* とか、

全くわからない人物もいる。